

岩手県企業短期経済観測調査結果（2016年6月）

- 調査対象企業は、岩手県内に本社を置く資本金2千万円以上の67社
- 回答率100%（回答数67社、うち製造業27社、非製造業40社）
- 回答期間 5月30日～6月30日

1. 業況判断指数（DI）

業況判断指数（全産業）は、前回調査（3月）から「良い」超幅が縮小した。（前回12→今回3；2011年12月調査以来19期連続での「良い」超）。

業種別にみると、製造業では、素材業種で「悪い」超幅が解消したものの、加工業種で受注減少を背景に「悪い」超幅が拡大したため、製造業全体では「悪い」超幅が拡大した（前回▲4→今回▲7；2015年9月調査以来4期連続での「悪い」超）。また、非製造業でも、震災復旧復興関連需要の減少を背景に建設、卸売、対個人サービスで業況感が悪化したことなどから、「良い」超幅が大幅に縮小した（前回22→今回10）。

先行きは、製造業で「悪い」超幅が縮小（今回▲7→先行き予測▲4）するほか、非製造業で「良い」超幅が拡大（今回10→先行き予測13）するため、全体では「良い」超幅が拡大（今回3→先行き予測6）。

この間、各種判断DI（参考1）をみると、生産・営業用設備判断DIの「不足」超が解消したほか、雇用人員判断DIでは「不足」超が続いている。

（「良い」－「悪い」）回答社数構成比、%ポイント、（ ）内は前回予測

	15/3月	6月	9月	12月	16/3月	6月	9月 (予測)
製造業	15	0	▲3	▲4	▲4	▲7(▲8)	▲4
素材業種	▲11	0	0	▲11	▲11	0(▲11)	0
加工業種	27	0	▲5	0	0	▲11(▲6)	▲6
非製造業	15	25	25	22	22	10(10)	13
建設	43	36	43	14	29	15(15)	7
全産業	15	15	14	12	12	3(3)	6

2. 売上高・経常利益（2015年度実績、2016年度見通し）

2015年度売上高は、他社との競争激化や暖冬などの影響から電気機械、電気・ガスで減収となったものの、震災復旧復興関連需要や新製品の投入効果等から建設、卸売、輸送用機械で増収となったため、製造業、非製造業ともに増収となった。

2015年度経常利益は、製造業で経費削減により減益幅を縮小させる動きがみられたほか、非製造業では震災復旧復興関連業種などを中心に増益となったため、全体では小幅の増益となった。

2016年度売上高は、製造業では、新製品の投入効果や年度後半にかけての需要回復期待を主因に増収となる見通しながら、非製造業で、建設需要（震災復旧復興、公共工事等）の減少による減収を見込んでおり、全体では減収となる見通し。

2016年度経常利益は、製造業で受注競争の激化や人件費の増加等を主因に、また、非製造業では、建設需要（震災復旧復興、公共工事等）の減少や競争激化を見込む先が多いことから、それぞれ減益計画となっている。

— 前年同期比・%、()内は前回調査比修正率・%

	2015年度(実績)		2016年度(見通し)					
	売上高	経常利益	売上高			経常利益		
			年度	上期	下期	年度	上期	下期
製造業	3.5 (0.0)	▲ 1.8 (14.0)	3.8 (0.7)	1.2 (1.0)	6.3 (0.3)	▲11.5 (▲17.5)	▲33.9 (▲30.1)	19.3 (▲ 4.3)
非製造業	4.8 (▲ 0.1)	2.5 (▲ 2.3)	▲ 9.0 (▲ 1.2)	▲ 7.7 (4.9)	▲10.2 (▲ 6.3)	▲13.2 (5.5)	4.6 (81.1)	▲22.5 (▲18.6)
全産業	4.3 (▲ 0.1)	0.8 (3.4)	▲ 4.9 (▲ 0.6)	▲ 4.7 (3.5)	▲ 5.0 (▲ 4.1)	▲12.6 (▲ 4.2)	▲14.0 (13.8)	▲11.5 (▲14.1)

3. 設備投資額（2015年度実績、2016年度計画）

2015年度は、能増投資、更新投資などがみられたものの、製造業の一部で需要悪化に伴う投資の先送りがみられたことから、全体では前年を下回った。

2016年度は、製造業の一部で需要悪化に伴う投資の先送りがみられているが、幅広い業種で新規出店等の能増投資、更新投資などが計画されており、製造業、非製造業ともに前年を上回る計画となっている。

(ソフトウェア投資を除くベース)

— 同上

	2014年度(実績)	2015年度(実績)	2016年度(計画)		
			年度	上期	下期
製造業	▲ 1.0	▲ 7.2 (▲21.1)	21.5 (▲26.1)	66.8 (▲23.0)	▲14.6 (▲30.4)
非製造業	4.7	3.3 (▲ 1.7)	14.4 (5.7)	9.8 (1.4)	18.7 (9.6)
全産業	1.5	▲ 2.4 (▲12.7)	17.4 (▲11.1)	33.0 (▲12.7)	3.9 (▲ 9.3)

(参考1) 各種判断 DI の推移

—— 回答社数の構成比・%ポイント、() 内は前回予測

(1) 需給・在庫・価格判断 DI (全産業ベース)

		15/3月	6月	9月	12月	16/3月	6月	9月 (予測)
製商品・ サービス需給	「需要超過」—「供給超過」	▲10	▲17	▲13	▲18	▲9	▲15(▲10)	▲15
製商品在庫	「過大」—「不足」	8	8	6	2	8	6(—)	—
仕入価格	「上昇」—「下落」	35	25	15	19	3	10(15)	12
販売価格		▲1	▲3	▲6	▲11	▲13	▲11(▲3)	▲12

(2) 生産・営業用設備判断 DI(「過剰」—「不足」)

	15/3月	6月	9月	12月	16/3月	6月	9月 (予測)
製 造 業	▲7	▲8	0	▲11	▲15	0(▲11)	0
非 製 造 業	▲3	▲2	▲3	▲5	0	0(0)	0
全 産 業	▲4	▲5	▲2	▲8	▲6	0(▲5)	0

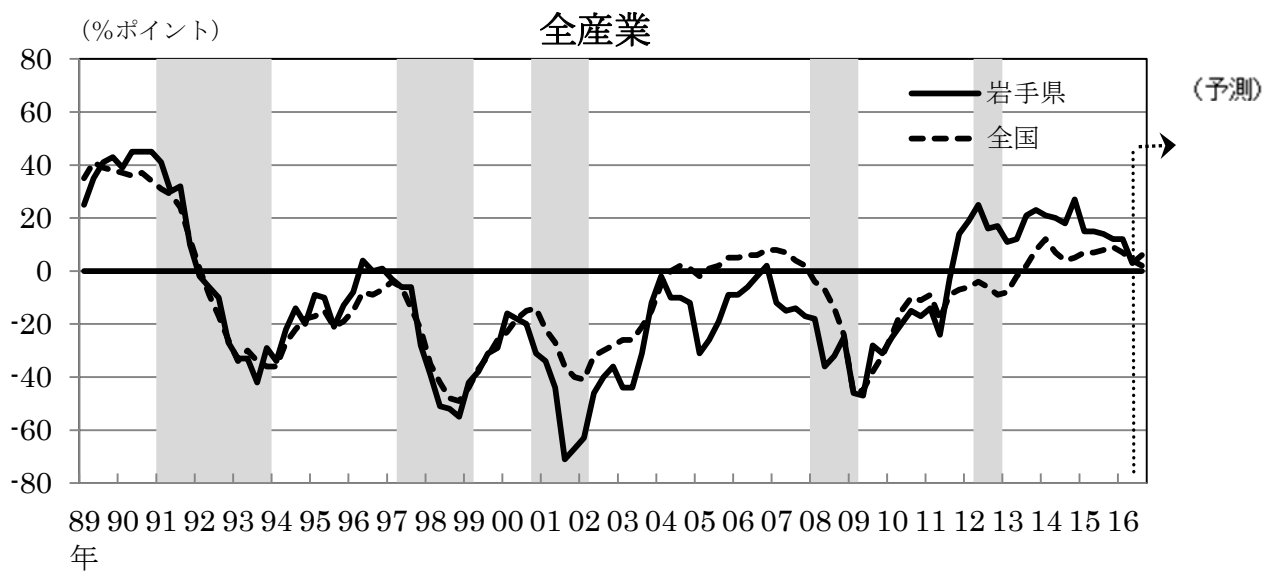
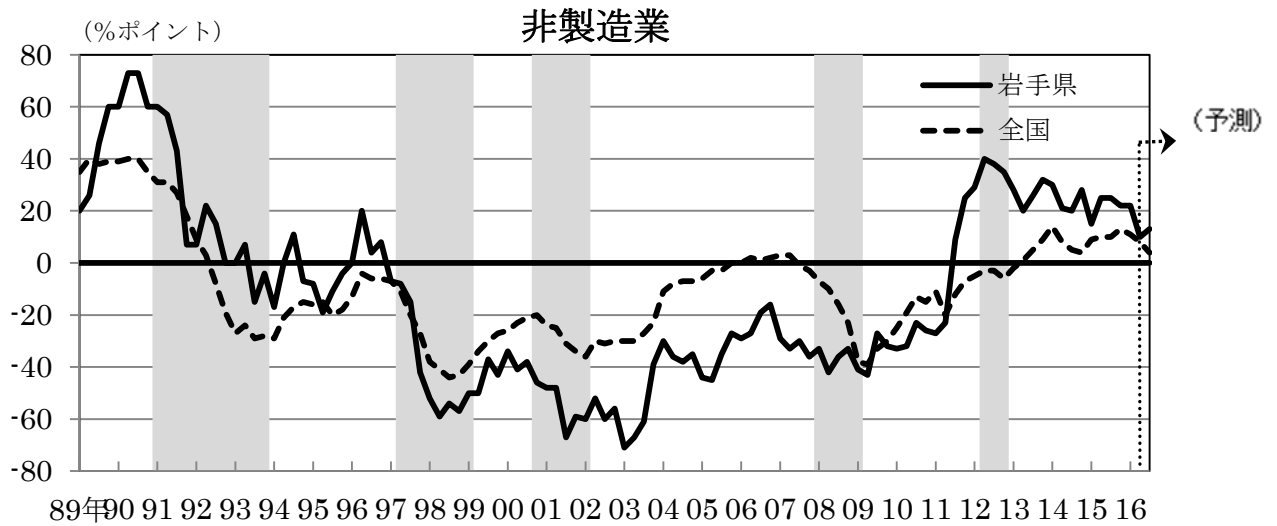
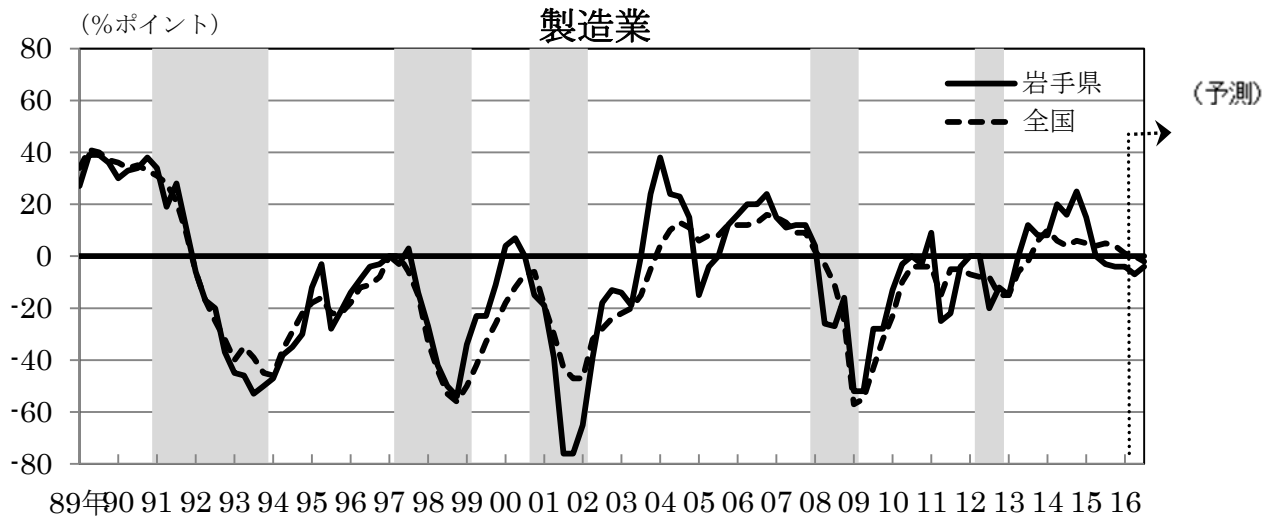
(3) 雇用人員判断 DI (「過剰」—「不足」)

	15/3月	6月	9月	12月	16/3月	6月	9月 (予測)
製 造 業	▲19	▲19	▲12	▲19	▲23	▲29(▲19)	▲19
非 製 造 業	▲32	▲27	▲32	▲27	▲25	▲15(▲18)	▲12
全 産 業	▲27	▲24	▲24	▲24	▲24	▲21(▲18)	▲15

(4) 企業金融関連判断 DI (全産業ベース)

		15/3月	6月	9月	12月	16/3月	6月	9月 (予測)
資金繰り	「楽である」—「苦しい」	10	12	15	10	12	6(—)	—
金融機関 貸出態度	「緩い」—「厳しい」	21	18	20	18	13	17(—)	—
借入金利 水準	「上昇」—「低下」	▲12	▲6	▲6	▲5	▲14	▲14(▲15)	▲9

(参考2) 岩手県の業況判断DIの推移



(参考3) 東北地区(6県)及び全国の業況判断DIの推移

()内は前回予測

		15/3月	6月	9月	12月	16/3月	6月	9月 (予測)
製造業	全国	5	4	5	4	1	0 (▲3)	▲2
	東北	1	▲2	▲1	1	▲4	▲4 (▲6)	▲1
	岩手	15	0	▲3	▲4	▲4	▲7 (▲8)	▲4
非製造業	全国	9	10	10	13	11	8 ()	4
	東北	11	14	15	18	11	8 ()	6
	岩手	15	25	25	22	22	10 (10)	13
全産業	全国	7	7	8	9	7	4 ()	2
	東北	7	8	9	11	6	4 ()	3
	岩手	15	15	14	12	12	3 ()	6

(参考4) 東北各県の業況判断DIの推移

()内は前回予測

		15/3月	6月	9月	12月	16/3月	6月	9月 (予測)
全産業	岩手	15	15	14	12	12	3 ()	6
	青森	0	1	8	7	6	5 (▲3)	4
	宮城	5	▲1	8	6	5	2 (▲1)	0
	秋田	▲7	0	0	0	▲6	▲5 (▲5)	▲3
	山形	5	7	0	13	2	▲2 (▲3)	1
	福島	16	16	15	18	10	10 ()	5

以上

本件に関する問い合わせ先

日本銀行盛岡事務所

TEL : 019-624-3622 (代)

<http://www3.boj.or.jp/morioka/>